

わくわく～く ちば

ワークス・コレクティブ（W.Co）は、生活クラブ生協から生まれた運動体です。

2026. 1. 吉日

高齢になっても、障がいがあっても誰でも地域で心豊かに暮らし続けられるために、あったらいいなと思う「もの」や「サービス」を仲間と一緒に市民事業に起こして、主体的な自立した働く場をつくり出しています。

＜ワークス・コレクティブって何？＞

「自分たちの暮らしは自分たちでつくる」という生活クラブの理念から、働く場も自分たちでつくり、社会を変える力としてきたのが、ワークス・コレクティブです。

「働く人の協同組合」として、メンバー全員が出資し、話し合っで営み、共に働き責任も分担しています。



生活クラブ生協のお店「デポー」を 地域のお店として運営する店舗ワークス



「この消費材、美味しいですね。私も好きです。来週、ここの生産者交流会があり楽しいお話が聞けますよ。お友達と一緒に参加しませんか。イベントもあります。一緒に盛り上げましょう！」このような会話は普通のスーパーではないですよね。デポーは価値観を共有する仲間を増やし（拡大）、生産者・組合員・地域の様々な人が出会う場所（地域コミュニティの拠点）、働く場所（ワークス・コレクティブ）であり、地域と組合員の協力で成り立っているお店です。

デポーはいつでも笑顔になれる場所です。



ワークス・コレクティブ樹

県内9つのデポーの店舗運営を生活クラブ虹の街から委託されています。その他に、2つの惣菜事業所（ボナベティ、さくらいろ）を自主運営しています。（樹 2013 年設立・矢野江美）



地域を巡り組合員の消費材を届ける 配送ワークス

1992 年、組合員がたすけあいグループ「わーかーず・あい」を設立し、個別配送という仕組みがない当時、配送ワークスの先駆けとなりました。

2008 年、共同購入運動の課題解決を図るため、生活クラブ千葉（虹の街）において配送ワークスの設立が方針化され、2011 年までに順次、全ブロックで設立されました。地域に住む組合員でもある私たち配送ワークスは、組合員に寄り添い、毎週お届けしているルート配送で、地域の見守り的な役割も自然に生まれています。今後も、組合員の声や地域のニーズを探り、組合員と一緒に共感する仲間を増やし、暮らしやすい地域への一端を担っていきます。

（結・五十嵐紀子）